

5-①. 学年別に見る生徒の本校の教育活動の感じ方の特徴

(例年比: 例年の同学年との比較 昨年比: その学年の昨年度との比較)

学年	今年度	前年度
中一	今年の1年生は、例年に比べると満足度が低い項目が多いのが特徴で、特に、環境面、容姿指導、学校行事、ホームルーム活動での評価が低い。逆に家庭学習の充実や進路実現に向けての努力の項目では例年より大きく上回っていることから、自己肯定感が高い学年であると感じる。	
中二	1年生の頃の評価と比較し、学習面や先生方の指導、心の問題・カウンセリング部活動の項目で満足度が下がっている。この項目は例年の2年生と比較してもかなり低く、その結果から学校生活満足度も低くなっている。逆に、礼節・挨拶の項目では、昨年比、例年比共に満足度が上がっている。	例年に比べて、行動面、容姿指導、カウンセリング等の生活指導面は満足している生徒が多い。また、進路面では実績や指導に満足はしているものの、自分自身の取り組みには満足できていない生徒が多い。また、ホームルーム活動での満足度も高く、充実した学校生活を送っている生徒が多いと感じる。
中三	例年の3年生と比べて、満足度が低い項目が多いが、学校生活満足度は例年並みである。1年生、2年生の時がやや低かったので改善された。しかし、先生方の熱心さやお祈り聖歌の意義、環境保全の意識の項目では、昨年比、例年比共に低い評価になっている。自ら規律ある行動と部活動の評価については例年に比べて良い結果となった。	この学年は、中1の時から学校生活の満足度が低く、学習の必要性に対する項目も更に低下した。全体的には満足度の高い項目も多いので、しっかり原因を突き止め改善する必要がある。また、進路に関する項目では、進路指導、進路講演会など学校の取り組みに関して満足はしているものの、自分自身の取り組みが不十分であると感じている生徒が多い。
高一	中学生と比べて昨年度より評価が上がっている項目は多い。特に、自ら規律ある行動や怪我の対応に関しては、前年比、例年比共に満足度が上がっている。気になる点としては、学校満足度が低く、前年比、例年比で比較しても低い評価となった。その原因として、カウンセリングの充実や学校行事、ホームルーム活動の充実の項目で不満を抱えている生徒が多いのが特徴である。	全体的に中2の時よりも評価が低い項目が多い。特に注目すべきは、学校生活の満足度、自ら学ぶ学習意欲、自分の行動に責任を持ち規律ある行動の項目で満足度が下がっていることは、原因を究明し、学年の取り組み、雰囲気作りを早急に改善する必要がある。進路実績やカウンセリングの充実についての評価は上がっている。
高二	学年としては、例年に比べて多くの項目で満足度が上がっている。特に、学習面での充実を感じており、ほとんどの項目で例年より良い評価を得ている。特に、教員の熱心さや学校保全の意識の項目では満足度が100%であった。しかし、学校満足度は例年よりも低く、過去3年間減少傾向にある。今年度で言うと、学校行事の満足度が著しく低下しているので、そこが大きく学校生活の満足度に影響していると考えられる。	中3の時と比較し、また例年と比較して評価が低くなっている項目が国際教育の充実、学校生活の満足度、家庭学習についての項目である。逆に、容姿の指導、学校行事の充実、ホームルーム活動の充実の項目での満足度は上がっている。このことから、学習指導の個々の充実度と満足度をどのように上げていくかが課題であり、それを達成できたときに学校生活の満足度も自然と上がると思う。
高三	この学年は毎年満足度が高い傾向にあるが、今年は更に良い結果となり、例年比で9項目、前年比で10項目において満足度が上がっている。やはり高校3年生では進路に関する項目が良い評価を得た。ただ、気になる点は学校生活の満足度がやや低いことである。この学年の特徴として毎年、図書の本の充実の項目で評価が低いが原因がそれだけとは考えにくい。	この学年は比較的に他学年と比べて高い評価を得ている項目が多いのが特徴である。例年に比べて満足度が上がっている項目が多く、高1の時と比べて、学校行事、ホームルーム、生徒会活動では満足度が上がり、逆に、進路行事の充実、進路の自己実現、規律ある行動の項目で満足度が下がっている。要望コメントなどから見ても鋭い視点を持った生徒が多いのが特徴なので上手く個性を發揮させつつ伸ばしていきたい。

5-②. 学年別に見る保護者の本校教育活動の感じ方の特徴

(例年比:例年の同学年との比較 昨年比:その学年の昨年度との比較)

学年	今年度	前年度
中一の保護者	例年に比べて満足度が上がっている項目も多いが下がっている項目も多いのが特徴である。子供たちが楽しく学校生活を送っていると感じている保護者が多く94.6%の満足度を得られた。また、身なり指導やカウンセリングの充実の項目でも高い満足度を得ている。逆に、学習環境の整備や進学実績、生徒の内面性の教育の項目で例年よりかなり低い評価となった。	
中二の保護者	昨年比で観ると、多くの項目で満足度が下がっている。特に、教員の熱心な指導、学力向上、ホームルーム活動の充実の項目では顕著である。保護者と学校の連携や悩みの相談の項目でも満足度が下がっていることから、日々の担任との連携が不十分であり、教員の指導の項目で低い評価となったと考えられる。一方、子供は楽しく学校生活を送れていると感じる保護者も多く、満足度が93.8%であった。今後は、保護者との密な連携や相談しやすい雰囲気作りがこの学年の課題である。	例年に比べて、多くの項目で若干下回っている。特に進路指導に関しては、情報の提供や進路指導、生徒の取り組みに満足できていない保護者が多い。部活動や学校行事、生徒会活動も含め、本校の取り組みを保護者にしっかりと伝えることが必要である。教員の熱心さや生活指導の面では良い評価を得ている。
中三の保護者	この2年で少しずつ満足度が下がってきているのが特徴で、特に、楽しく学校生活を送っていると感じる保護者が減少傾向にある。教員の熱心な指導、保護者との連携、相談の項目では昨年比で観ると満足度が高く良い評価を得ているので、中学3年生という多感時期を迎え、生徒自身がいろいろなことに悩み、学校生活を楽しくていないように感じていると考えられる。	全体的に学校施設の安全面やカウンセリングなど心のケアの面で満足されている方が多いのが特徴である。しかし、中1の時と比較して、全体的に評価が下がっており、特に、家庭学習の充実や進路に向けての取り組みへの評価が低い点が気になる。保護者と学校が密に連携を取り、両軸で生徒をサポートしていく体制と意識付けが必要に感じる。
高一の保護者	全項目の満足度の平均値を観てみると昨年度と比べて大きく増加している。この2年低かった、進路指導の項目でも、満足度が上がっており、多くの項目で高い満足度を得ている。気になる点としては、教員の熱心な指導の項目で満足度が下がっていることである。保護者との連携、相談の項目でも良い評価を得ているので原因が見えてこない。身なり指導の項目でも低い評価であったので、それらを踏まえ検討、改善が必要に感じる。	中2の時に引き続き、進路指導に関しては低い評価となっている。今年度は、国際交流、または、家庭での生徒の学習状況に関して也十分ではないと感じている保護者が多い。反対に、服装、頭髪指導や保護者会活動に関する評価は中2の時よりも高い。特に服装、頭髪指導に関しては100%の満足度を得られた。
高二の保護者	昨年比で観ると、多くの項目で満足度が増加しており、全項目の平均も8.9%上がった。特に、教員の熱心な指導、進路情報など6項目で満足度100%となっており良い評価を得た。その中で楽しく学校生活を送っているの項目で昨年度よりも7.8%、その他礼儀・挨拶、生徒の内面性を育む教育の項目で満足度が減少した。学習指導や進路指導だけでなく、行事等を含めた学校生活の充実を望む保護者の声が数値となったと予想される。	全体的に中3の時と比べて評価が下がっている項目が多い。特に、生徒に対して、学習に対して自ら学ぶ姿勢や家庭学習への取り組む姿勢、進路実現に向けての努力する姿勢、服装、頭髪指導に対して、不十分だと感じている保護者が多いのがこの学年の特色である。生徒が学校に楽しく登校できていると感じている保護者は多いので、今後、生徒達に学習面、進路面双方で自ら学ぶ姿勢をどのように育成していくかが課題である。
高三の保護者	昨年に引き続き今年度も良い評価を得た。特に、学習の必要性や進路実現に向かう姿勢、内面性を育む姿勢のと取り組み、豊かな人間性の育成、保護者との相談の項目では非常に高い満足度となっている。昨年比で評価を落としている項目もあるが、非常に少ないことが特徴である。	この学年の特徴として、全体的に高1の時と比較して評価が上がっている。特に、学習指導や進路指導面で大きく伸びており、保護者会活動でもよい評価を得た。一方で、服装、頭髪指導、情操教育面で若干減少している。生徒の評価も全体的に良かっただけに、しっかり課題に向き合い、生徒・保護者に明確に伝えていくよう改善が必要である。